



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 株式会社 東海理化電機製作所
コード番号 6995 URL <http://www.tokai-rika.co.jp>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 牛山 雄造

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 籠橋 榮治

TEL 0587-95-5211

四半期報告書提出予定日 平成25年2月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	267,781	21.2	14,787	167.2	15,543	139.1	△1,778	—
24年3月期第3四半期	221,003	△11.1	5,534	△66.3	6,502	△61.6	2,861	△3.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,142百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △1,856百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△19.69	—
24年3月期第3四半期	31.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	285,953	169,655	56.1
24年3月期	273,217	165,198	59.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 160,301百万円 24年3月期 161,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
25年3月期	—	14.00	—		
25年3月期(予想)				16.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	363,000	13.6	21,000	59.6	22,000	46.9	2,000	△75.4	22.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	94,234,171 株	24年3月期	94,234,171 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,921,636 株	24年3月期	3,920,307 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	90,313,402 株	24年3月期3Q	90,315,739 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成24年10月30日に公表した連結業績予想は、当第3四半期連結会計期間において、通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
(6) セグメント情報等	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、欧州の景気低迷の長期化や中国の成長鈍化などの影響があるものの、米国、アセアンでは堅調に推移し全体では緩やかな成長が持続しましたが、日本においては復興需要が景気を下支えしましたが、日中関係の悪化による影響を受け足元の景気が急速に悪化しました。

自動車業界におきましては、日中関係悪化の影響を受けた中国での日系自動車メーカーの販売低迷、高成長を続けていたインドやブラジルで減速感がみられましたが、好調な米国やアセアンに牽引され、全体としては堅調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は267,781百万円と、前年同四半期に比べ46,778百万円(21.2%)の増収となり、利益につきましては、連結営業利益は14,787百万円と、前年同四半期に比べ9,253百万円(167.2%)、連結経常利益は15,543百万円と、前年同四半期に比べ9,041百万円(139.1%)のそれぞれ増益となりました。しかしながら、連結四半期純損益は客先の市場回収処置に伴い、製品保証引当金繰入額15,829百万円を特別損失として計上したため1,778百万円の損失(前年同四半期は連結四半期純利益2,861百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

客先生産台数の増加などにより、売上高は192,141百万円と、前年同四半期に比べ31,141百万円(19.3%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加や合理化等に積極的に取り組んだことにより10,467百万円と、前年同四半期に比べ8,284百万円(379.4%)の増益となりました。

(北米)

客先生産台数の増加などにより、売上高は47,526百万円と、前年同四半期に比べ11,873百万円(33.3%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加などにより823百万円(前年同四半期は営業損失481百万円)となりました。

(アジア)

アセアンでの客先生産台数の増加などにより、売上高は50,639百万円と、前年同四半期に比べ11,183百万円(28.3%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加などにより3,928百万円と、前年同四半期に比べ285百万円(7.8%)の増益となりました。

(その他)

売上高は11,472百万円と、前年同四半期に比べ382百万円(3.2%)の減収となりました。営業損失は、145百万円(前年同四半期は営業利益86百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

資産は285,953百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,736百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金や有形固定資産の増加によるものであります。

(負債)

負債は116,297百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,279百万円増加いたしました。これは、主に製品保証引当金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は169,655百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,457百万円増加いたしました。これは、主に少数株主持分の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済は、米国では緩やかな成長、アセアンでも好調が続く見込みですが、中国では輸出不振などの影響により成長率が低下する見込みです。このような状況は外需への依存が高い日本の景気回復にとって懸念材料であり、不安定な状況が続くと予想されます。

自動車業界におきましても、欧州の先行き不透明感や中国の成長鈍化による販売台数の減少が懸念されるものの、個人消費が良好な米国などの影響もあり、世界全体の販売台数は堅調に推移するものと思われま

す。一方、日本の自動車業界につきましては、日中関係に依然不確定要素が残り予断を許さない状況にあります。しかし、円安傾向の為替相場が通期で持続されれば、自動車業界にも好影響を与えることが予想されます。

通期の連結業績予想につきましては、平成24年10月30日決算発表時の公表値を修正し、売上高363,000百万円、営業利益21,000百万円、経常利益22,000百万円、当期純利益2,000百万円を見込んでおります。なお、為替レートにつきましては、第4四半期以降、1 USドル=85円、1 ユーロ=115円と想定しております。詳細につきましては、本日開示の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、税引前四半期純損失となった場合等には、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ75百万円増加し、税金等調整前四半期純損失は75百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,749	25,762
受取手形及び売掛金	54,954	44,006
電子記録債権	4,627	10,105
有価証券	40,243	40,561
商品及び製品	5,879	7,905
仕掛品	12,972	14,206
原材料及び貯蔵品	4,153	4,391
その他	12,064	14,076
貸倒引当金	△46	△58
流動資産合計	156,598	160,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,617	26,369
機械装置及び運搬具（純額）	21,427	20,861
その他（純額）	25,825	30,975
有形固定資産合計	72,870	78,206
無形固定資産		
のれん	—	116
その他	1,601	1,562
無形固定資産合計	1,601	1,678
投資その他の資産		
投資有価証券	26,705	29,367
その他	15,566	15,881
貸倒引当金	△124	△137
投資その他の資産合計	42,147	45,111
固定資産合計	116,619	124,996
資産合計	273,217	285,953

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,240	46,433
短期借入金	5,065	6,283
1年内返済予定の長期借入金	2,169	276
未払法人税等	733	442
賞与引当金	5,801	2,854
製品保証引当金	2,019	17,989
その他の引当金	268	235
その他	18,043	17,462
流動負債合計	84,340	91,978
固定負債		
長期借入金	5,956	5,952
退職給付引当金	16,752	17,225
その他の引当金	516	556
資産除去債務	67	67
その他	385	517
固定負債合計	23,678	24,318
負債合計	108,018	116,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	25,134	25,134
利益剰余金	130,434	126,513
自己株式	△7,049	△7,050
株主資本合計	171,375	167,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△278	51
為替換算調整勘定	△10,015	△7,203
その他の包括利益累計額合計	△10,293	△7,152
新株予約権	777	771
少数株主持分	3,339	8,583
純資産合計	165,198	169,655
負債純資産合計	273,217	285,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	221,003	267,781
売上原価	196,532	232,379
売上総利益	24,471	35,401
販売費及び一般管理費	18,936	20,614
営業利益	5,534	14,787
営業外収益		
受取利息	420	308
受取配当金	169	178
持分法による投資利益	444	64
為替差益	—	79
その他	893	404
営業外収益合計	1,927	1,035
営業外費用		
支払利息	212	200
為替差損	672	—
その他	74	77
営業外費用合計	959	278
経常利益	6,502	15,543
特別利益		
固定資産売却益	25	15
新株予約権戻入益	69	101
負ののれん発生益	—	514
段階取得に係る差益	—	37
特別利益合計	94	669
特別損失		
固定資産除売却損	23	—
投資有価証券評価損	32	1
持分変動損失	356	—
製品保証引当金繰入額	—	15,829
独禁法関連損失	—	1,391
特別損失合計	412	17,222
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	6,184	△1,008
法人税等	3,253	420
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,931	△1,429
少数株主利益	69	348
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,861	△1,778

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	2,931	△1,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,318	391
為替換算調整勘定	△3,567	2,069
持分法適用会社に対する持分相当額	98	110
その他の包括利益合計	△4,787	2,572
四半期包括利益	△1,856	1,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,794	605
少数株主に係る四半期包括利益	△62	537

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日であった佛山東海理化、天津東海理化、無錫理昌科技については、第1四半期連結会計期間より連結決算日における仮決算による財務諸表にて連結する方法に変更しております。この変更に伴う平成24年1月1日から3月31日までの3ヶ月間の損益については、利益剰余金の増減額として調整しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	136,895	35,566	36,725	209,187	11,816	221,003	—	221,003
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,105	87	2,730	26,922	37	26,960	△26,960	—
計	161,000	35,653	39,456	236,109	11,854	247,964	△26,960	221,003
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,183	△481	3,643	5,345	86	5,432	101	5,534

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額101百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	162,629	47,419	46,423	256,472	11,309	267,781	—	267,781
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,511	107	4,216	33,835	163	33,998	△33,998	—
計	192,141	47,526	50,639	290,307	11,472	301,779	△33,998	267,781
セグメント利益又は セグメント損失(△)	10,467	823	3,928	15,219	△145	15,074	△287	14,787

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△287百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

日本セグメントにおいて、(株)東海理化クリエイトが持分法適用関連会社から連結子会社となったことに伴い、当第3四半期連結累計期間において、負ののれん発生益514百万円を計上しております。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。